

令和 5 年 5 月 29 日
総 務 省
(一財) 自治体国際化協会

第 17 回自治体国際交流表彰（総務大臣賞）

自治体国際交流表彰（総務大臣賞）は、日本と海外の自治体の姉妹都市交流をはじめとした交流活動のうち、創意と工夫に富んだ取組を行っている団体を表彰し、広く全国に紹介することによって、自治体国際交流の更なる活性化を図り、もって地域の国際化に資することを目的としています。

このたび、次のとおり受賞団体が決定し、本日、表彰式を行いましたので、お知らせします。

受賞団体

- 旭川・ブルーミントン・ノーマル姉妹都市委員会（北海道）
- 川越市、川越市姉妹都市交流委員会（埼玉県）
- 大阪市（大阪府）

（添付資料）

- ・（資料 1）第 17 回自治体国際交流表彰（総務大臣賞）受賞団体の概要（1～3 頁）
- ・（資料 2）自治体国際交流表彰（総務大臣賞）の概要（4, 5 頁）

（連絡先）

総務省自治行政局国際室 ^{たがしら} 田頭参事官補佐、^{くわた} 葉田主査、朝日

電 話：03-5253-5527（直通）

E-mail：kokusai(at)soumu.go.jp

(一財)自治体国際化協会交流親善課 ^{しろず} 松田課長、白水

電 話：03-5213-1723（直通）

E-mail：shimai(at)clair.or.jp

※迷惑メール対策のため、「@」を「(at)」と表示しております。

送信の際には、「@」に変更してください。

第17回自治体国際交流表彰の受賞団体の取組について (旭川・ブルー・ミントン・ノーマル姉妹都市委員会)

交流先：ブルー・ミントン・ノーマル・旭川姉妹都市委員会(米国)

これまでの取組について(概要)

○ブルー・ミントン市及びノーマル市との間で、市民の協力を得ながら、ホームステイ等を行う青少年交流事業を50年以上継続して実施。

○高校生の相互派遣を約10ヶ月の長期間で実施し、これまでに153名が参加、また、10日間程度の中学生の相互派遣も実施し、これまでに1,103名が参加。

○1981年から1988年までの期間中に、旭川市から1回、ブルー・ミントン市から5回、看護師・看護学生を相互派遣し、病院での奉仕活動や研修を行った。

○1983年から2001年までの期間中に、ノーマル市から大学野球部の監督・コーチや少年野球チーム「コメッツ」が来旭し、旭川市の野球関係者との交流や、少年野球チームへの指導・親善試合を行うなど友好を深めた。

○1992年姉妹都市提携30周年記念事業の一環として、旭川市の「ブルー・ミントン・ノーマルの森」にベンチを設置するなどの整備を行った。

○2007年6月7日～11日、姉妹都市提携45周年を記念し、ブルー・ミントン・ノーマル両市長や姉妹都市委員会委員長ほか18名、アカペラグループ・サスペンデッド12名が来旭。記念式典でパフォーマンスを行った。

○2022年10月1日、旭川市市制施行100周年記念 旭川・ブルー・ミントン・ノーマル姉妹都市提携60周年記念「交流紹介展」を開催。旭川市長やブルー・ミントン・ノーマル両市長及び姉妹都市委員会委員長からの祝賀メッセージや交流の写真など、数多くの資料・記念品を展示し、広く市民に周知を行った。



1980年代当時の医療従事者交流の様子
(ブルー・ミントン市)



現在の学生交流の様子(ブルー・ミントン市)



「ブルー・ミントン・ノーマルの森」
(55周年記念訪問団来旭)

第17回自治体国際交流表彰の受賞団体の取組について (川越市、川越市姉妹都市交流委員会)

交流先：(1)オッフエンバッハ市(独国)、(2)セーレム市(米国)、(3)オータン市(仏国)

これまでの取組について(概要)

○海外姉妹都市との青少年交流事業を30年以上継続して行い、
これまで500名以上の中学生が、現地でホームステイや
や同世代交流等を体験。

○コロナ禍により交流事業の中止を余儀なくされた令和2年、
これまで海外姉妹都市派遣事業に参加した生徒を対象にアン
ケートを実施。派遣経験がその後のキャリアに及ぼした影響
などを調査。翌年、その調査結果を基に「中高生シンポジウ
ム2021」をWeb開催。現在グローバルに活躍する先輩たち
をパネリストに迎え、未来を担う中高生に向けてキャリア形
成や多文化共生意識の重要性を発信。

○令和4年、市制施行100周年には「姉妹友好都市記念式典&
シンポジウム」を開催。各都市の首長らによる交流事業の継
承を謳う共同宣言署名のほか、過去派遣生による「都市間交
流と若者の未来」について考えるシンポジウムを開催。



中学生交流団の訪米の様子(セーレム市)



※海外姉妹都市市長から
のビデオメッセージ
上:オッフエンバッハ市
左:セーレム市
右:オータン市



川越市100周年事業(R4) 共同宣言時の様子

第17回自治体国際交流表彰の受賞団体の取組について (大阪市)

交流先：(1)シカゴ市(米国)、(2)メルボルン市(豪州)

これまでの取組について(概要)

○地域の交流拠点としてメインストリートに着目し、姉妹都市提携をしているシカゴ市やメルボルン市と、人材交流や技術交流を目的とした姉妹ストリート協定を締結。

○平成30年9月にメルボルン市からスワンストンストリートの空間再編を主導した都市デザイナーを招聘するなどし、姉妹都市ストリート交流の今後の展開について協議を行った。

○令和4年6月にはシカゴ市において姉妹ストリートの記念碑を設置するセレモニーが行われ、大阪市職員らが参加している。

○令和4年12月には、シカゴ市からザ・マグニフィセント・マイル協会、ワールド・ビジネス・シカゴを大阪に招聘し、同団体の講演会を実施するとともに、大阪市・メルボルン市・シカゴ市の姉妹ストリート連携3都市会議を開催している。

○姉妹ストリート協定締結都市の知見を元にした民間主体による街園の再整備や、多くの市民が来場する御堂筋のイベントでの海外ストリートのPRなど、市民・民間団体と連携した取り組みを展開している。

○今後、パリのシャンゼリゼ大通り、ニューヨーク市のブロードウェイを加え、5都市による世界ストリート国際会議の開催を目指す。



メルボルン市からスワンストンストリートの空間再編を主導した都市デザイナーを招聘



シカゴ市において開催された姉妹ストリートの記念碑を設置するセレモニー



シカゴ市のザ・マグニフィセント・マイル協会の招聘にあわせて大阪市・メルボルン市・シカゴ市の姉妹ストリート連携3都市会議を開催

自治体国際交流表彰（総務大臣賞）の概要

1 趣旨

日本の自治体と海外の自治体の姉妹交流をはじめとした交流活動（以下「自治体国際交流」という。）のうち、創意と工夫に富んだ取組を行っている団体を表彰し、広く全国に紹介することにより、自治体国際交流の更なる活性化を図り、もって地域の国際化に資することを目的として実施。

2 主催

総務省及び一般財団法人自治体国際化協会

3 表彰対象団体

自治体国際交流を行っている次の団体とする。

- (1) 都道府県及び市区町村
- (2) 地域国際化協会、国際交流協会等の民間非営利団体

4 表彰団体数

3 団体以内

5 審査基準

- (1) 先進性 他の模範となる先進的な取組 等
- (2) 独自性 創意工夫、地域独自の特性を活かした取組 等
- (3) 継続性 活動の継続、効果や実績の定着、（実績は少なくとも）今後の活動の継続性・発展性が期待できる取組 等
- (4) 活発性 活動内容の充実の度合い、頻度、広がり 等
- (5) 協働性・連携性 住民や企業との協働、連携 等
- (6) 効果 地域の国際化、地域経済の活性化、地域の知名度やイメージの向上 等

【審査委員】

審査委員会の審査を経て、総務省と一般財団法人自治体国際化協会が決定する。

○第 17 回自治体国際交流表彰（総務大臣賞） 審査委員会委員（令和 5 年 3 月 31 日時点）

- ・ 縣 公一郎 早稲田大学政治経済学術院 教授
- ・ 久邇 良子 東京学芸大学教育学部 教授
- ・ 荒見 玲子 名古屋大学大学院法学研究科 綜合法政選考基幹法・政治学 教授
- ・ 土山 希美枝 法政大学法学部 教授
- ・ 水田 秀子 公益財団法人 かながわ国際交流財団 前専務理事
- ・ 柴垣 禎 特定非営利活動法人 多文化共生マネージャー全国協議会 理事
- ・ ニーナ・ハッカライネン 外国人女性の会 パルヨン 代表理事
- ・ 植松 浩二 公益財団法人 全国市町村研修財団全国市町村国際文化研修所 学長
- ・ 畑山 栄介 総務省自治行政局 参事官 兼 国際室 室長
- ・ 鳥田 浩平 一般財団法人 自治体国際化協会 理事

第17回 自治体国際交流表彰について

自治体国際交流表彰とは

○日本の自治体等で実施されている外国の自治体との姉妹自治体提携等に基づく交流活動のうち、創意と工夫に富んだ優良事例の取組を行っている自治体等を表彰し、広く全国に紹介することによって、自治体国際交流の更なる活性化を図るとともに、地域の国際化に資することを目的として、平成18年度から実施している。

○第1回から第16回までの間で、46自治体等が受賞している。

<第17回 自治体国際交流表彰受賞団体>

- ・旭川・ブルーミントン・ノーマル姉妹都市委員会(北海道)
- ・ブルーミントン・ノーマル・旭川姉妹都市委員会(米国)との交流の取組
- ・川越市、川越市姉妹都市交流委員会(埼玉県)
- ・オッフエンバッハ市(独国)、セーレム市(米国)、オータン市(仏国)との交流の取組
- ・大阪市(大阪府)
- ・シカゴ市(米国)、メルボルン市(豪州)との交流の取組



第13回 自治体国際交流表彰 (R元. 5月) の式典

第17回 自治体国際交流表彰 審査委員会

- | | |
|-------------|--------------------------------------|
| 縣 公一郎 | (早稲田大学政治経済学術院 教授) 【委員長】 |
| 久邇 良子 | (東京学芸大学教育学部 教授) |
| 荒見 玲子 | (名古屋大学大学院法学研究科 総合法政選考
基幹法・政治学 教授) |
| 土山 希美枝 | (法政大学法学部 教授) |
| 水田 秀子 | ((公財)かながわ国際交流財団 前専務理事) |
| 柴垣 禎 | ((特活)多文化共生マネージャー-全国協議会理事) |
| ニーナ・ハッカライネン | (外国人女性の会 パルヨン 代表理事) |
| 植松 浩二 | ((公財)全国市町村研修財団全国市町村国際文化
研修所 学長) |
| 畑山 栄介 | (総務省自治行政局国際室 参事官 兼 国際室長) |
| 鳥田 浩平 | ((一財)自治体国際化協会 理事) |

(令和5年3月31日時点)

最近の受賞団体

- 第16回(R4年5月)※報道発表のみ
 - ・公益財団法人 加古川市国際交流協会(加古川市(兵庫県))
 - ・認定特定非営利活動法人 岡山市日中友好協会(岡山市(岡山県))
 - ・沖縄県
- 第15回(R3年5月)※報道発表のみ
 - ・名寄・リンゼイ姉妹都友好委員会(名寄市(北海道))
 - ・鶴岡・ニューズウィック友好協会(鶴岡市(山形県))
 - ・特定非営利活動法人 三重県日本中国友好協会(三重県)
- 第14回(R2年5月)※報道発表のみ
 - ・富山県
 - ・京都市(京都府)
 - ・薩摩川内市(鹿児島県)